

千葉県知事 森田 健作 様

2017年3月14日  
株式会社セブン-イレブン・ジャパン  
代表取締役社長（COO）  
古 屋 一 樹

事業所名	株式会社セブン-イレブン・ジャパン	
所在地	〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8	
代表者名	代表取締役社長（COO）	古屋 一樹
担当窓口	千葉ゾーン ゾーンマネジャー	小俣 仁
	千葉ゾーン 総務担当マネジャー	鴨下 浩
事業概要	設立	昭和48年11月20日
	資本金	172億円
	従業員数	8,054人
	平成28年2月期実績（国内）	
	全店売上高	4兆2,910億6千7百万円
	営業総収入	7,936億6千1百万円
	営業利益	2,350億3千3百万円
	当期純利益	1,629億1千0百万円
店舗数	18,572店	
事業内容	国内でコンビニエンスストアを展開	

## 年間計画書

千葉県下のセブン-イレブン店舗1,055店（2月末時点）で、お届けサービス等日々の業務を通して高齢者の見守り・買い物難民支援・認知症対策・高齢者雇用等に取り組めます。

### I 高齢者の見守り

セブン-イレブンのお届けサービスを通して、高齢者の見守り活動に取り組めます。

- ・千葉県内の地域包括支援センター151箇所全てを訪問し、ケアマネジャー等との連携を緊密にし、高齢者の不便の解消に取り組めます。
- ・お届け（セブンミール含む）を通して、異変を察知した場合、即座に119番及び警察署・市町村へ通報します。
- ・市町村が実施している配食事業への参画を通じて、独居高齢者の見守り活動を広げます。

### II 「ちばSSKプロジェクト」

ちばSSKプロジェクトのロゴが印刷されたポスターの配布及び啓発に努めます。

- ・セブン-イレブン店の店頭で年間を通して掲示します。
- ・地域における孤立化防止・見守り事業について参加します。

### Ⅲ 認知症対策

県下のセブン-イレブン本部全社員は、認知症サポーター養成講座を受講します。

- ・各 13 エリア（市原、木更津、成田、千葉中央、船橋、松戸、柏、九十九里、千葉北、習志野、浦安、銚子、北総）で加盟店対象の認知症サポーター養成講座を定期的に開催し、従業員の認知症サポーターを養成します。
- ・地域の認知症に関わるイベント等への参加に努めます。

### Ⅳ 高齢者の安心・安全

千葉県警察本部生活安全部及びコンビニ防犯協力会との緊密な連携をとり、電話 d e 詐欺や消費者被害の防止活動について協力をします。

- ・ A T Mセカンド画面にて電話 d e 詐欺の注意喚起を表示します。
- ・見守り活動を通して、高齢者の過度な商品注文や宅配物を発見した場合、市町村へ通報します。
- ・徘徊している高齢者を発見した場合、消防・警察及び市町村へ通報します。

### Ⅴ 高齢者の雇用（生きがい、健康、仲間づくり）

- ・高齢者を店舗従業員として採用し、高齢者の生きがいや幅広い仲間づくりを支援します。
- ・仕事を通して、生きがい、健康、仲間づくりに繋げて行きます。
- ・県内各市町村と緊密な連携に努め、高齢者向けのお仕事説明会を定期的で開催していきます。
- ・高齢者の能力やライフスタイルに合わせた短時間勤務の採用に取り組みます。
- ・就労支援の為に受講料無料のレジ勉強会を実施します。
- ・高齢者雇用で成功している店舗の事例を共有し、店舗が高齢者を受け入れやすい体制を整えます。

以上